

令和6年2月21日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展「知られざる海生無脊椎動物の世界」 開催および報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）は、2024（令和6）年3月12日（火）から6月16日（日）までの期間、下記のとおり、企画展「知られざる海生無脊椎動物の世界」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち 3月11日（月）15時30分から17時の間、別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

海には“背骨を持たない”動物（無脊椎動物）の多様な世界が広がっています。しかし、これまでこれらの動物は、一般的な認知度が低く、中心的に紹介されることもありませんでした。そこで本展では、興味深い形態や生態、そして、人の暮らしとの関わり合いなどの紹介を通して、これら海生無脊椎動物の多様な世界の魅力に迫ります。

広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。



節足動物門タカアシガニ
（所蔵：国立科学博物館）

記

【開催場所】国立科学博物館（東京・上野公園） 日本館1階企画展示室および中央ホール

【開催期間】2024（令和6）年3月12日（火）～6月16日（日）

【開館時間】9時～17時

※入館は閉館時刻の30分前まで

【休館日】月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）

※ただし3月25日（月）、4月1日（月）・30日（火）、6月10日（月）は開館

※休館日等に変更となることがあります

【入館料】一般・大学生：630円（団体510円）、高校生以下および65歳以上：無料

※本展は常設展示入館料のみでご覧いただけます

※団体は20名以上

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください

<https://www.kahaku.go.jp/>

【主催】国立科学博物館

【特別賛助協力】船の科学館「海の学び ミュージアムサポート」

【特別協力】公益財団法人水産無脊椎動物研究所

【協力】東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所、長崎大学薬学部、
ミュージアムパーク茨城県自然博物館

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【お問合せ】国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL：03-5814-9840, 9883, 9887 FAX：03-5814-9898 E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展

「知られざる海生無脊椎動物の世界」

報道内覧会のお知らせ

2024(令和 6)年 3 月 11 日(月) 15 時 30 分～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「知られざる海生無脊椎動物の世界」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

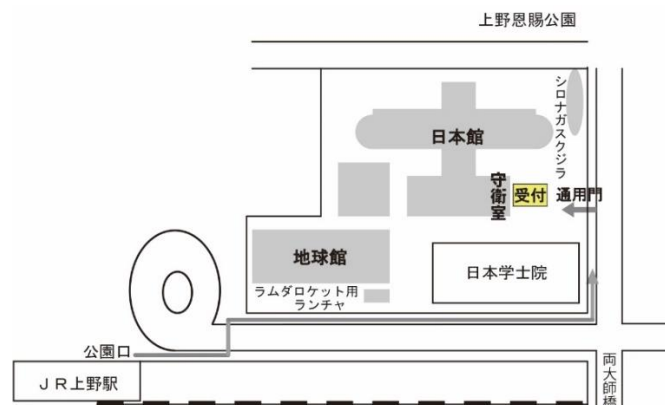
記

【日 時】 2024(令和 6)年 3 月 11 日(月)
15 時 30 分～17 時（受付開始 15 時～）

【会 場】 国立科学博物館（東京都台東区上野公園 7-20）
日本館 1 階企画展示室および中央ホール

【受付場所】 日本館 1 階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。

【アクセス】 JR 上野駅公園口から徒歩 5 分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅 7 番出口から徒歩 10 分
京成電鉄上野駅から徒歩 10 分
※駐車場及び駐輪場の用意はございません。



【当日のスケジュール】

15 時～ 受付開始（受付場所：日本館 1 階守衛室前）

15 時 30 分～17 時 報道内覧会

※15 時 30 分から約 30 分間、本展の監修をした国立科学博物館の研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は **3月7日(木)17時まで**に、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp あてメールにてお申込みください。

- ・ 件名：企画展「海生無脊椎」報道内覧会申込
- ・ お名前
- ・ ご所属
- ・ 緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・ メールアドレス

※代表者の方がまとめてお申込みをされる場合も、すべての参加希望者について、上記の必要事項をご記入願います。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします（概ね3日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

【本展監修者】



動物研究部 海生無脊椎動物研究グループ 研究主幹

並河 洋（なみかわ ひろし）

専門はヒドロ虫類の生物学。一見動物らしからぬ姿かたちの群体動物の不思議さに興味を持ち、特に刺胞動物のヒドロ虫類を対象に分類や発生、生態について研究しています。群体動物の世界はなかなか奥が深いです。この企画展をとおして群体動物にすこしでも興味を持って頂ければありがたいと思っています。



動物研究部 海生無脊椎動物研究グループ 研究主幹

小松 浩典（こまつ ひろのり）

専門分野は甲殻類（主にカニ類）の分類学。海の無脊椎動物はどこにどのような生物がいて、どのような生活を送っているのか、まだまだ謎だらけです。たくさん新種記載をしたいという野望をお持ちの方は、ぜひ無脊椎動物学の門を叩いてみて下さい。大歓迎します！まずは手始めに磯観察から始めましょう。きっとお気に入りの動物が見つかるはずです。



動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究主幹

中江 雅典（なかえ まさのり）

専門分野は魚類の形態学。「魚類はあらゆる水域に適応している多様な動物だ」と講演などで話をしていますが、やはり動物界は広いですね。本展示にて海の無脊椎動物の圧倒的多様性の一端に触れていただけたのであれば幸いです。食材コーナーでは、何種の動物を食べた経験がありましたか？私はユムシ以外経験アリです。

【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL: 03-5814-9840, 9883, 9887 FAX: 03-5814-9898 E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①企画展「知られざる海生無脊椎動物の世界」ポスター



②節足動物門タカアシガニ
(所蔵: 国立科学博物館)



③珍無腸形動物門ニッポンチンウズムシ
(写真: 国立科学博物館)



④刺胞動物門ペニウミツサカ
(写真: 今原幸光)



⑤軟体動物門アオウミウシ
(写真: 国立科学博物館)



⑥胴甲動物門シワコウラムシ科の1種
(写真: 藤本心太)



⑦有櫛動物門シンカイウリクラゲ
(写真: 小松真弓)



⑧腕足動物門ミドリシャミセンガイ
(写真: 国立科学博物館)



⑨軟体動物門ムラサキガイ
(所蔵: 国立科学博物館)

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展の紹介目的のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りいたしますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉 国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当
電話 03-5814-9840、9883、9887 FAX 03-5814-9898
E-mail: kikakuten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

企画展

無脊椎動物
海生
2024
3.1
6.1
国立科学博物館
National Museum
日本館1階企画展示室

2024
3.12(火)
|
6.16(日)

国立科学博物館 (東京・上野公園)
National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)
日本館1階企画展示室 および中央ホール

| 開館時間 | **9時～17時** ※入館は閉館時刻の30分前まで
 | 休館日 | **月曜日**(月曜日が祝日の場合は**火曜日**)
 ※ただし3月25日(月)、4月1日(月)・30日(火)、6月10日(月)は開館
 | 入館料 | **一般・大学生630円(団体510円)**
 ※常設展示入館料のみでご覧いただけます ※団体は20名以上 ※高校生以下および65歳以上は無料

特別賛助協力：船の科学館「海の学びミュージアムサポート」
特 別 協 力：公益財団法人水産無脊椎動物研究所
協 力：東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所
長崎大学薬学部
ミュージアムパーク茨城県自然博物館

お問い合わせ

TEL
050-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX
03-5814-9898
<https://www.kahaku.go.jp/>

船の科学館
海の学びミュージアムサポート
Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

知られざる

Special Exhibition Marine Invertebrates -The Unknown Wonderful World-

企画展

海生無脊椎動物の世界

海には“背骨を持たない”動物(無脊椎動物)の多様な世界が広がっています。

しかし、これまでこれらの動物は、一般的な認知度が低く、中心的に紹介されることもありませんでした。

そこで本展では、興味深い形態や生態、そして、人の暮らしとの関わり合いなどの紹介を通して、

これら海生無脊椎動物の多様な世界の魅力に迫ります。

第1章

多様な動物の世界

CHAPTER_01

現世の動物(後生動物)は34の門に分類されています。このなかには、身近な動物に加えて、微小なのに非常に複雑な形態をした動物や、臓器が何も無い動物、さらには「動かない動物」など私たちの想像を超える不思議な動物がたくさんいます。そんな動物の不思議で多様な世界を、進化の道筋(=系統樹)とともに紹介します。

第2章

不思議な 海生無脊椎動物の形や生態

CHAPTER_02

無脊椎動物とされる動物33門のうち、海にすむ種がいるのは31門になります。その中の18門は、属する種がすべて海で生活しています。つまり、生命誕生の場でもある海は、多様な動物門が出現することのできた環境なのでしょう。ここでは、陸上では見ることができない海にすむ多様な無脊椎動物の興味深い世界をのぞいてみることにします。

第3章

人とのかかわり

CHAPTER_03

一般的にはあまり認識されていませんが、人の暮らしにも多くの海生無脊椎動物が関わっています。あるものは食料として、あるものは宝石として、あるものは日用品として、人に利用されています。一方で、寄生虫や食材の汚損生物、侵略的な外来生物として、人の暮らしに悪影響を与えるものも知られています。

第4章

海生無脊椎動物を 理解する意義

CHAPTER_04

本展では、海には“背骨を持たない”動物(無脊椎動物)の多様な世界が広がっていることをいくつかの窓を通してのぞいてみました。その締めくくりとして、海生無脊椎動物にも絶滅に瀕している種がいること、博物館の標本の存在意義、そして研究の現状について紹介します。

アクセス

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線
「上野駅」7番出口から徒歩10分
- 京成電鉄
「京成上野駅」正面口から徒歩10分

※館内に駐車場および駐輪場はございません

お問い合わせ

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL : 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX : 03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>

※詳細はホームページをご覧ください。

